Infectious Diseases Weekly Report
IDWR HIROSHIMA City
2026年第43週（10月19日～10月25日）

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

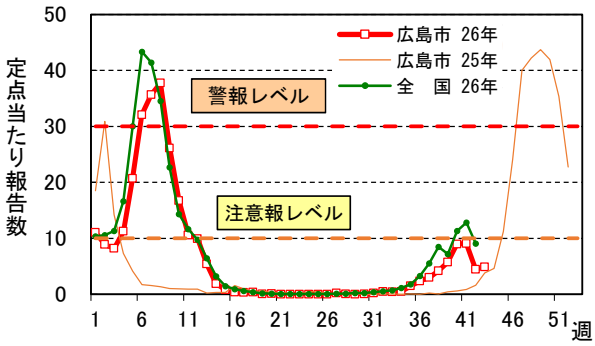
■コメント

1　インフルエンザ

定点当たり4.88人と、多い状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第43週に8件の報告がありました。引き続き、手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。（次ページ参照）

迅速診断キット検査結果（市内2か所の協力医療機関による）
第43週　A型：33人、B型：0人

インフルエンザの流行状況



2　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり1.38人の報告があり、前週と比べて増加しました。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

3　咽頭結膜熱

定点当たり0.67人の報告があり、過去5年間の同時期平均と比べて多い状況です。アデノウイルスによる感染症で、いわゆる「夏かぜ」の一種ですが、冬季に流行することもあります。感染経路は飛沫感染と接触感染で、5～7日の潜伏期間の後、発熱、喉の痛み、結膜炎などの症状が出現します。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況（週報対象）

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均（注）	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症（ARI）	1953	57.44		⇗
	インフルエンザ	166	4.88	4.59	→
	新型コロナ（COVID－19）	9	0.26		
小児科	RSウイルス感染症	8	0.38	0.39	↓
	咽頭結膜熱	14	0.67	0.54	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.38	1.64	↘
	感染性胃腸炎	85	4.05	3.07	→
	水痘	10	0.48	0.12	
	手足口病	8	0.38	1.27	
	伝染性紅斑	－	－	0.17	
小児科	突発性発しん	2	0.10	0.20	
	ヘルパンギーナ	8	0.38	0.53	
	流行性耳下腺炎	2	0.10	0.04	
眼科	急性出血性結膜炎	－	－	0.05	
	流行性角結膜炎	7	0.88	1.18	
基幹	細菌性髄膜炎	－	－	－	
	無菌性髄膜炎	2	0.33	0.03	
	マイコプラズマ肺炎	1	0.17	2.20	
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	－	－	－	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	－	－	0.03	

急増減	⇑ ⇓	前週と比較しておおむね1：2以上の増減
増減	↗ ↘	前週と比較しておおむね1：1.5～2の増減
微増減	⇗ ⇘	前週と比較しておおむね1：1.1～1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症（ARI）定点数（内科・小児科）	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	110	30歳代、40歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	54	10歳未満・O血清群不明
5	ウイルス性肝炎	1	5	40歳代・B型
5	急性脳炎	1	8	10歳未満
5	侵襲性肺炎球菌感染症	3	18	10歳代・1人、80歳代・2人
5	梅毒	1	95	50歳代

■定点把握感染症報告状況（週報対象）の推移

			急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）	インフルエンザ	新型コロナ（ＣＯＶＩＤ－19）	ＲＳウイルス感染症	咽頭結膜熱	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）
報告数	広島市	第39週	1,476	195	31	12	4	13	86	2	13	−	3	11	−	−	2	−	−	1	−	−
		第40週	1,724	305	19	10	5	13	101	2	20	−	4	6	1	−	1	−	−	8	−	−
		第41週	2,167	309	9	16	−	20	82	3	12	−	2	10	−	−	1	−	3	1	−	−
		第42週	1,763	152	14	17	1	18	85	2	4	−	1	7	−	−	2	−	1	4	−	−
		第43週	1,953	166	9	8	14	29	85	10	8	−	2	8	2	−	7	−	2	1	−	−
定点当たり	広島市	第39週	43.41	5.74	0.91	0.57	0.19	0.62	4.10	0.10	0.62	−	0.14	0.52	−	−	0.25	−	−	0.17	−	−
		第40週	50.71	8.97	0.56	0.48	0.24	0.62	4.81	0.10	0.95	−	0.19	0.29	0.05	−	0.13	−	−	1.33	−	−
		第41週	63.74	9.09	0.26	0.76	−	0.95	3.90	0.14	0.57	−	0.10	0.48	−	−	0.13	−	0.50	0.17	−	−
		第42週	51.85	4.47	0.41	0.81	0.05	0.86	4.05	0.10	0.19	−	0.05	0.33	−	−	0.25	−	0.17	0.67	−	−
		第43週	57.44	4.88	0.26	0.38	0.67	1.38	4.05	0.48	0.38	−	0.10	0.38	0.10	−	0.88	−	0.33	0.17	−	−
	全国	第41週	69.78	12.81	1.44	1.42	0.18	1.42	3.22	0.16	0.92	0.03	0.26	1.30	0.04	0.01	0.63	0.01	0.07	0.66	0.01	−
		第42週	56.70	9.08	0.89	1.09	0.18	1.19	2.82	0.20	0.60	0.02	0.24	0.74	0.03	−	0.52	0.01	0.07	0.61	0.01	0.01

■病原体検出状況（ARIサーベイランス）

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

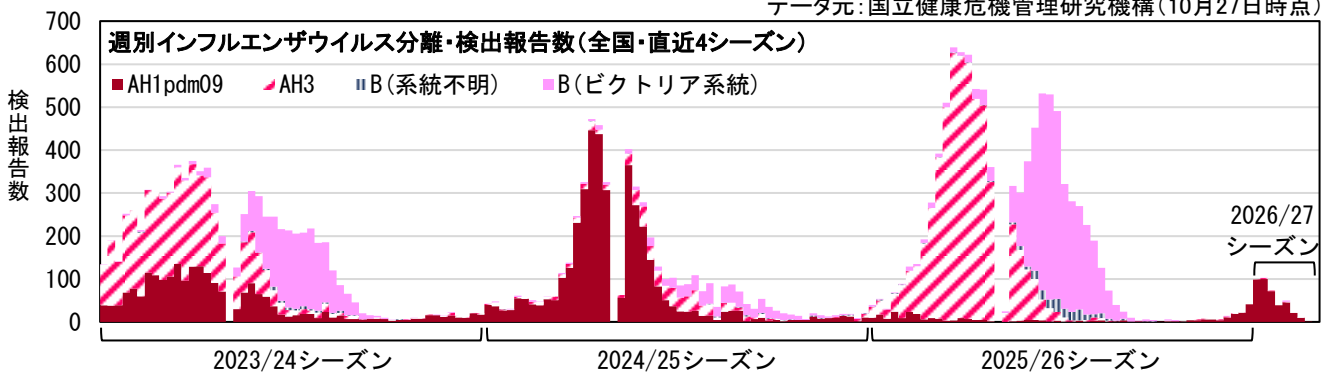
検体採取週	検査検体数	陽性検体数＊	インフルエンザウイルスAH1pdm09	インフルエンザウイルスAH3	B型インフルエンザウイルス（ビクトリア系統）	B型インフルエンザウイルス（山形系統）	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パラインフルエンザウイルス1型	パラインフルエンザウイルス2型	パラインフルエンザウイルス3型	パラインフルエンザウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第38週	16	16	2				3	1	1		1				5	4	4
第39週	5	4												1	2		1
第40週	16	12	3					2		3	1				4	2	1
第41週	15	10	4					1						4	3		
第42週	13	11	6							1					2	2	

＊同一検体からの複数ウイルス検出例を含む（検査：広島市衛生研究所）

詳しくはホームページで　広島市　病原体　検索

【参考】インフルエンザウイルス検出状況

データ元：国立健康危機管理研究機構（10月27日時点）



2026/27シーズンのインフルエンザウイルス検出報告数は、全国ではAH1pdm09亜型が388件、AH3亜型が7件、B型（ビクトリア系統）が4件検出されています。

広島市では、AH1pdm09亜型が19件、AH3亜型が2件検出されています。

IASR 速報グラフ ウイルス（国立健康危機管理研究機構）
https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/graph/virus/index.html

病原体検出情報（広島市衛生研究所）
https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/1005991/index.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所　〒733-8650　広島市西区商工センター四丁目１番２号
TEL (082) 277-6575　FAX (082) 277-5666　E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp